

病害虫発生予察特殊報(第2号)

平成17年6月6日
神奈川県病害虫防除所長

病害虫名：TSWVによるシクラメンの病害
病原ウイルス：Tomato Spotted Wilt Virus (TSWV)

作物名：シクラメン

1 発生経過

- (1) 平成16年に県内で栽培されているシクラメンにおいて、葉のえそ斑および葉の奇形の症状が見られる株が発生した。
- (2) 同年10月に農業振興課農業専門技術担当及び病害虫防除所職員が現地を調査したところ、ガラスハウス(約40a)内に栽培されていたシクラメンのうち約5%の株に、葉のえそ斑点・えそ条紋・輪紋、葉の奇形・縮葉、黄化症状を確認した。なお、この施設では7月から同様の症状が見え始め、8月下旬の移植以降症状が顕著になった。品種では‘ビクトリア’の被害が多い傾向にあった。
- (3) 農業総合研究所で試料をペチュニアに接種したところトスポウイルス属によると思われる症状が認められた。さらに、RT-PCR検定の結果Tomato Spotted Wilt Virus (TSWV)が検出された。
- (4) 本ウイルスによるシクラメンの病害は、本県で初めての確認である。

2 病徴および病原の性質と伝搬

- (1) 本県で確認された主な症状は、葉のえそ斑点・えそ条紋・輪紋、葉の奇形・縮葉、黄化症状、成葉の外側への巻きである。
- (2) 本ウイルスはトスポウイルス属に属し、寄主範囲が広く、野菜・花き類を中心に約650種の植物で被害が報告されている。
- (3) 本ウイルスはミカンキイロアザミウマなどのアザミウマ類が媒介し、種子伝染、土壌伝染はしないとされている。

3 防除対策

- (1) 媒介虫であるアザミウマの防除を徹底する。
- (2) 寒冷紗などを設置して、アザミウマの侵入を防ぐ。
- (3) 周辺の作物や雑草なども伝染源となる可能性があるため、当該作物以外でもアザミウマの防

除や雑草防除などの環境整備につとめる。

(4) 汁液伝染する可能性もあるため、ピンセットなどを使う作業には注意する。

シクラメン（花き類）のミカンキイロアザミウマに適用のある薬剤

薬剤名	使用基準	希釈倍率
エビセクト水和剤	発生初期、5回	1,000倍
パダンSG水溶剤	発生初期、5回	1,500倍
アクタラ顆粒水溶剤	発生初期、6回	1,000倍
アフーム乳剤	発生初期、5回	2,000倍



葉のえそ斑点



葉のえそ条紋



葉のえそ輪紋



葉の奇形及び黄化・枯死

神奈川県病虫害防除所
〒259-1204 平塚市上吉沢1617
TEL 0463-58-0333
FAX 0463-59-7411
テレフォンサービス 0463-58-6612
http://www.agri.pref.kanagawa.jp/boujoshu/top.asp